

住まい・ル新聞

日本ステンレス工業株式会社

発行/日本ステンレス工業株式会社
〒409-0617 山梨県大月市猿橋町殿上630-1

電話=0554-22-2500

FAX=0554-22-5234

Vol.190 2015

7月号

消えて行く 学校 井上 豊

【第三部 試験対照綴】
明治二二年第一回小試験
対照

第三年級

修身 人とならびてす
わる時の心得
人の前にてはなをかむ
には如何すべきや

読方 半葉ずつ講読

書取 式 勺

摘書 式 個

作文 借り物に遣わす

算術 生徒

習字 式 拾字

(暗) 或生徒七日間昇
校して毎日五字ずつ覚
えしと云う。

幾字なるや。

(珠) 五銭の筆本と六
銭の済み丁を買い、そ
の代金合わせて如何。

一枚二二銭の蚕籠一二
五枚を買い、その代金
二回に返さば一回に返
す金何程。

体操 徒手 一節より
四節まで

明治二二年第一回小試験
対照

第四年級

修身 客のありし時煙
草盆及び菓子の出し順
を記せよ

節制の格言中なんじ等
の覚えしものを挙げよ

読方 半葉ずつ講読

書取 式 勺

摘書 式 個

作文 筒を贈られし礼状

習字 一六文字

算術 (暗) 一〇銭の銀貨五
〇枚を以て一銭二枚と
二〇銭札と換えれば二
〇銭札何枚なりや

(珠) 或山林を五人共
同して山代金一五円を
出し、之を薪に売り二
二円得たり。各手間代
と用金何程なりや。

(筆) 一玉一八銭の桑
葉五〇玉を以て一二間
蚕を養いたり。一日分
桑代如何。

体操 徒手一節より四
節まで

賑岡尋常小学校第一年級
第二回小試験対照

修身科

(一) 孝行とは何をす
ることぞ

(二) 他家は行くとき
の心得

読方科

摘書 式 個

書取 式 個

質問

作文科

(一) セキヒツ

(二) フデ

(三) アキハモミジ

(四) かじはこはし

(五) えんきょう

習字科 六 字

算術科

(一) 五人の人の目は
幾つなるや

(二) 試験の褒品とし
て兄より菓子五つと姉

さんより一〇もらいた
り。
合わせて幾何なるや。

(三) 三百二十五と算
用数字にて書せ。

(四)

$$\begin{array}{r} 34 \\ + 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 38 \\ 12 \\ + 82 \\ \hline \end{array}$$

賑岡尋常小学校第二年級
第二回小試験対照

修身科

藤岡喜一郎の説話によ
り格言を書かしむ

読方科

摘書 二個

質問 二個

作文科

すずりの記

習字科

九字

算術科

(一) 一本の柿の木に
すずめ一〇羽止まり居
れり。その内四羽は他
へ飛び行きたり。残り
しすずめ何羽なるや。

(二) 三銭の筆二本と
二銭の木筆二本買う代
金は幾何なりや。

(三) 或童子五〇銭の
札を以て一二銭の書物
と一八銭の算盤を買え

り。残り金幾何なりや。

(四) 或子供母の年を
問いしに兄弟の年を合
わせたる程なり。兄は
一五歳、弟は一三歳な
り。母の年を問う。

(五) 一二三十一二十
四一一

賑岡尋常小学校第三年級
第二回小試験対照

修身科

なんじ等退校後は如何
なることをなしおるや。

年六、七歳の男女にし
て学校にも行かず何の
業もなくただ毎日遊び
居る者近辺にあり。之
と共に遊ぶときは如何
なることを云うや。

読方科

十一月三日は祝日にて、
日の丸の旗を軒に立て
学校も休業なれば、岩
殿山の紅葉を見にい
か

ん。平日交わりの最も
親しき君と兩人にて行
きましよう。

作文科

甲府へ商用にて行くを
報ずる文

獵師の記 欠席届

習字科

長野 山梨 静岡

愛知 石川 富山

問答 体操は何の学科
なるや

草木は何の為に紅葉す
るや

天長節は如何なる日や

書取 日本の語は外国
に通用せず

是は国々の旗印なり

算術科

五銭の筆一五本と三銭
の墨八丁の代如何。

牛肉一斤一八銭にして
七八斤を二人して買え
ば、一人の出金幾何な
りや。

(一) (三五×一二) -
(一八×八) =
珠算 一二三十一二十
一〇〇〇

344111

553111

431111

+ 59

賑岡尋常小学校第四年級
第二回小試験対照

修身科

(一) 飲食を客に出
すに注意すべき箇条を
挙げよ

(二) 自分の欲をお
さえて之に勝つは大敵
に勝にまさると云う、
格言の解釈を記せよ。

読方科

君決して遅刻するなか
れ。我等の教師は生徒
の遅刻することをはな
はだ嫌い給えり。故に
我等は毎朝必ず早く来
りて教師を満足せしむ
ることを以て本意とす。

然らば八五〇匁を買うに
は代金如何なりや。

作文科

(一) 菊花を送る文

(二) 賑岡の地理

(三) 借用証

習字科

香奠 経料 目錄 就

中 取分 来ル十一月
三日八天長節の祝日

問答

(一) 象は如何なる地
に住むや

(二) 灯台は如何なる
用をなすものなりや

(三) 秋季皇霊祭は如
何なる祭りや

書取

(一) 小舟の沈没する
こと屢々あり

(二) 田畑成熟す

算術科

(一) 月に二五銭ずつ
費やす人あり。一ヶ月
間に如何。

(二) 旅人あり。九里
の道を行くに一時間に
二七丁ずつ歩行すると
きは幾時間に達するや。

(三) 長さ一二〇間
よこ一二間の地所あり。
之を一二枚の田に分割
せば一枚坪数何程。

珠算 (四) 白米三斗六
升入りの俵代三円二四
銭相場なるときは一斗
五升を買うには代金何
程か。

(五) 縦糸の相場は一
円に二五匁なりと云う。

然らば八五〇匁を買うに
は代金如何なりや。

8月号へ続く...